

磐城時報

七日 日刊
磐城石城郡平町新田十四
印刷部 石城郡平町新田十四
電話 一四一
行 所 磐城石城郡平町新田十四
電話 一四一
行 所 磐城石城郡平町新田十四
電話 一四一
行 所 磐城石城郡平町新田十四
電話 一四一

不運打續く入山炭礦

今度は瓦斯爆發の椿事

原因未だ不明 不審の点多し

死者十五名の弔慰金 最高二千三百圓

遺族達會社の誠意に感謝す

湯本町入山炭礦會社第五坑南側第五電機機附近で六日正午頃突然異常な大音響を發したのを同所から約五町程離れた個所に居た同所監督上遠野現場員が聞き直ちに引返して見ると異臭を感じたので瓦斯爆發と知りその旨第五坑事務所へ急報したが、當日同所へ入坑作業中であつた者は一、二名（午前六時）に入坑した約二十名程であつた。事務主任では大貫技術部長、前田顧問等は數十名の救護隊を連れて現場に至つて見ると、瓦斯爆發のため黒焦げとなつた死体を續々と發見したので直ちに平警察署並に仙臺礦務署へ急報し、平署からは折柄労働争議のため山中の平山高等課長櫻村平署長等出張救護隊員を督勵して死体捜索を行つた結果、同日午後三時半までに

煽風機がなくてさへ 通氣の良い個所

係官原因調査に苦しむ

岩瀬郡杵衝村連村吉山勝美(三三)▲西白河郡滑津村下作夫和知(四二)▲安達郡木幡村工作夫手子武藤儀兵衛(四一)▲栃木縣那須郡高林村雜夫松本金次郎(二五)▲安達郡油井村先山渡邊(三二)▲田村郡夏井村先山夫根本信(五二)▲田村郡要田村先山田邊留三(三二)▲安達郡木幡村后山高橋今朝之助(三三)▲伊達郡東湯野村先山夫鈴木利七(四九)▲郡山市燧田后山千木崎倉之助(三九)▲石城郡湯本町先山荒川亥之松(一九)▲田村郡瀬川村先山夫橋本林太郎(二〇)▲栃木縣芳賀郡市場は入山病院に收容手當中である

瓦斯爆發椿事勃發の報に接し、仙臺礦務署からは午後四時常務地方炭礦の監督官中村技師來山し又平區裁判所檢察官からは高増檢察以下急行直ちに原因調査に取りかゝつたが、爆發個所は去る大正十三年に瓦斯發生して七十五名の死者を出した箇所から更に奥に四千尺即ち坑口の調査判断、頭をひねつてみるに、實に七千尺の距離の箇所で第五坑南側の最も奥の箇所で、同所には煽風機下から絶えず電氣により炭車が往來してゐるので通氣割合によく、過るが、其處に貫通せしむる計劃の下に安全爆薬で掘進を行つた

救護隊員等は一先づ坑外に引上げたが、椿事勃發するや當日の第五坑全部の入坑者約五百名の家族は入坑者の安否を氣遣ふて第五坑人道附近に群集し搬出された死体にすがつて泣く者喚く者等獄もかやくとばかり見るに氣の毒な愁嘆場を演出してゐた。

椿事勃發 當時の様相

現場員語る
椿事勃發の現場を發見した上遠野現場員は語る「正午頃ダイナマイトノ音があつてから約七分程経つて再び大音響があつたので不思議に思つて引返して見ると、異臭が襲つて來たので瓦斯爆發と直感したわけだ。

八日盛大な社葬

弔慰金は平均千五百圓

社員が手分けして通夜

入山炭礦會社東京本社からは六地方名士參列の上焼香、弔慰明日中に取敢へず小山田庶務主任讀等ある筈である。七日夜は入山一漆野入山坑務所長、吉田山坑務所員が夫々手分けして遺事務部長等と共に遺難遺族に對難者宅に至り通夜を行ふ事になし香奠並に花輪等を贈りしと鄭つた。

遭難者遺族

就中氣の毒な
入山第五坑椿事、因る遭難遺族は、何れも氣の毒な立場に在るのには勿論であるが、中には悲惨な生命には全く別條がないと言はる先山渡邊兼吉(三六)の遺族だ。

果して争議團が 如何なる態度に出るか

乗ずる事は同情を失ふ所以

今回の入山炭礦第五坑瓦斯爆發機として會社に對し或る種進行のため十五名の犠死者を出した動に出で、しかし、會社當局が現在繼續されてゐる労働争議に如何なる影響があるかは社八苦の態にあり、此際争議に乗一般から頗る注目されてゐるが、會社では「遭難者には全くの形勢がない」とは不幸中の幸である、尙ほ遭難者十五名の死体は夫々遺族に引渡してあるが、八日午後一時か、坑務所側を毛頭認めないから、争議團に對しては従來通り強硬な態度で對抗するつもりで妥協の意志は持たないと言明してゐる等危殆に陥つたのは最近の常態である。

驚いた!!!

加納活版所の印刷物!!

小名濱に開かる、 本年の夏期大學

水泳ぎに重きをおいたため

縣教育會は五日午前十一時より光中禪寺方面に修學旅行中偶々縣廳に於て教育會役員會を開催雨天山崩れのため生徒中より兩したが、問題となつてゐる夏季三名の負傷者を出した事として本大學開催地に對しては本年は主年の旅行取止めに内として体育本位とする關係上會定し既にその旨各保護者に通知津方部となすか濱方部となすか、その後植田方について種々議論があつたが、部父兄會から希望もあり且經費結局八月一日から十日まで十日の抽出方法もついた處から來る間石城郡小名濱町に於て開催十一日より三年生は二泊三日間のことに内定した、而してこれの正式決定に對しては同町の交渉結果によつて定める筈で、尚本年は水泳に重きを置くつもりである。

入山に來山

藏重警察部長 爭議の調停か

藏重警察部長は入山炭礦第五坑内に瓦斯爆發の椿事が起つた報に接したので調査監督を兼ねて七日午前湯本町に來たが、警察部長は過般來入山炭礦労働爭議を何とかして解決させたいと努力してゐたらしいから、此の機に於て仲裁に入るではないかと言はれてゐる。

内務省で 爭議地視察

内務省社會局宇都宮孝一氏は六日入山炭礦爭議地視察のため湯本町に來り詳細調査中である。

修學旅行

縣立磐城高等女學校では昨春日

時事問題について 讀者の意見を募る

吾等が住む石城の天地、將に將に多事多端である。市制を施かんとする平町にも幾多改善を迫られたものがあるではないか。更に附近を見よ、曰く労働問題、小名濱港問題、曰く何々々。之等に關し各位の忌憚なき御意見の投書を望む。

行數制限なし 宛名編輯部

四年生は同日より向ふ一週間關西地方へ旅行する事に決定した。

故山村暮鳥氏 未亡人より

昨日はなほがき、まことにありがたうございました。たいへんご迷惑なしてをります中に、もう夏が來てしまひます皆様をそろひで、たいそがうたはたらきのさうで何よりうれしく存じます。

三園會和歌集

當座題「花下宴」(四) 秀逸 林 光福大人選

豫定の通り五月一日盛大な、そしてつくり出し、式かあがられた。碑(暮鳥詩碑のこと)は形よく、親しみか、その石はまことに、どうくたるものでございませう。それに芋袋先生のほうつつけられた文字、ほんとうについたいなうございませう。大きな空の下、小高い芝丘に、松林を背にして、電車や自動車の走りを見やりながら、はるかかき春の日の短かかけを、はるかかき、ひびく波の音を、きながら、ごつかりと腰を下して、その碑をながめ、た時、胸が一ぱいになりま

花かけに暮はりまはす小さか、もりのうたも御代の恵みなりけり。土屋新八、花の下よは何あらんうたけし、てあすの愛はあすを愛へん。田太、和さけくと開く櫻の下かけ、ひさこのかすみみみやくつ、ん、とひくれば木の下かけに友も、来ついでや開かん花のうたけ、を、花かけにかすみをくめは菅の、根のなかき春日短かかけ、り、せいはよし櫻は盛りいさま、友、花につごびてさ、そくま、秋月胤徳、咲きさかる櫻のもとにさ、く、みて浮世のはかのよをを樂、む、人、花さかりけふのまごのうた、しきはみやひの友と霞くひ、り、さく花のうたけの人のうた、く、立舞ふ袖も香に匂ひけり、宮森たき子、最も優秀なる効力を、有する新薬、脳を健やかにし精力を増し、血色を美しくする新薬、神活、薬價壹圓、貳圓、參圓、五圓、代理、大平屋薬店、平一丁目電話六四二

た。よろこびとさびしきで云ひ知れぬ波がさわぎました。東京からは前出(夕暮)高村(光太郎)花岡謙二(大關(五郎)松村さんなど御いで下され、その他柳橋(好雄)さんは、この近くの方々たよそ四十人ほど御出席下さいました(中略)いづれた禮は申上げらつてもりですが、御力をへ下いたしました方々にくれぐれもよろしくつたいて下さいませ。まづはとりいそぎに禮まで申上げます。

小役員募集

尋常小學六年修業若クハ高等二學年修業程度ノ者十五才未滿(履歷書本人持參ノ事) 平町四丁目十五番 工業商會 電話二一八番

春は訪る

松ヶ岡公園に 三春行樂の巻と化した 公園池畔の 春の情景 を慕ひあれ 松ヶ岡公園 電話二二番

春着大出賣

モスリン着尺と セールとネル 羽二重片側帶地 春柄提供!! 店員募集 女店員募集 事務員募集 店服吳野中 印刷物は加納活版所

靴と運動具

品と値の競争なら絶対負けぬ 市價の二割方安價 出來合品豊富 大塚支店 製靴部 運動具部 磐城の平・田町(電話七〇二番)

醬油と味噌

福島縣平町 山崎合名會社 電話(營業部専用)一〇番 (一般用)二七番 振替東京一九七五五番 上野車坂四三 東京支店 電話下谷五七二番 振替東京六八三一二番

滋養、強壯劑として愈々好評

偉大なる薬酒 栗守酒 朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力 栗守酒特約店 大平屋薬店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目電六二四